



MBニュース



丸松物産株式会社

【2018年産銀杏産地情報】

弊社貿易部員を銀杏の産地、広西省に派遣し、産地情報を収集致しましたのでご報告いたします。

今年は天候にも恵まれ、銀杏の実も多く実ったようですが、近年銀杏の需要が悪く、価格も低迷しているために農民の収穫意欲が低く、収穫されずに多くの銀杏が地面に残っている光景が見られました。

広西省の銀杏は日本の銀杏に似て、楕円の形をしております。長細いものもありますが、銀杏の葉の形で種類が選別できるとの事です。弊社では、日本の銀杏に似た楕円形で、苦味も少なく、食感もよい原料を仕入れております。

銀杏工場近辺の銀杏並木



【2018年産なめこ生産前情報】

なめこの産地遼寧省の天候は、なめこの生育に適した天候で、順調に生育しているとの事です。収穫は10月の初旬から開始される為、現時点での具体的な収穫量は予測できておりません。現地からの情報によると、一部の生産地の農家では、収益が低いなめこの栽培を止めて、収益の高い椎茸の栽培を始める農家も出てきたとの事です。全体の収穫量に影響を及ぼすほどではないようです。製品価格に関しては、10月中旬以降に分かる予定ですので、引き続き産地情報を収集し、新たな情報が入り次第、ご報告いたします。

【国慶節連休の国内観光収入6千億元 小売・外食1.4兆元】

各地の観光機関、通信キャリア、オンライン旅行サービス企業が報告・提供したデータに基づき中国観光研究院(文化・観光部データセンター)の推計によると、国慶節(建国記念日、10月1日)連休に全国で受け入れた国内観光客はのべ7億2600万人に達し、前年同期比9.43%増加した。国内観光収入は5990億8千万元(1元は約16.5円)で同9.04%増加し、12301全国観光問い合わせ・苦情プラットフォームに寄せられた苦情は736件で同9.25%減少した。また商務部(省)が7日に発表した「国慶節ゴールデンウィーク」消費データによると、10月1～7日には全国の小売・外食産業の売上高が1兆4千億元に達し、一日当たりの平均額は同9.5%上昇した。連休期間には商品消費のバージョンアップ傾向が目立った。各地ではオーガニックフード金・銀ジュエリー製品、超高精細テレビ、スマートフォン、スマートホーム用品、自動車などの売り上げに火がついた。外食市場も盛んで、大衆化した特色ある外食サービスが広く人気を集めた。重点モニタリング外食企業の営業収入をみると、陝西省は同13.2%増加、江蘇省は同12.6%増加湖北省は同12.5%増加した。北京市の老舗外食産業が爆発的な伸びを示し、ランチの回転率は2回以上、ディナーは3回以上に達し、一連の企業で営業額が10%以上増加した。

「人民網日本語版」2018年10月8日より抜粋

【お勧め商品情報】

	商品名	きのこのごま和え 900g	<p>かぼちゃときのこの胡麻和え</p> <p>根菜ときのこの胡麻和え</p>
	商品説明	3種(椎茸・エリンギ・えのき)のきのこ野菜を彩豊かにごま和えにした逸品です。	
	主要原材料	椎茸、エリンギ、えのき、人参せり、ごま	
	賞味期限	製造日より6ヶ月	
	使用上の注意	賞味期限は未開封状態を基準としております。開封後はお早めにお召し上がり下さい。	

クックパッド・丸松物産キッチンへGO



自社製品のアレンジメニューを「クックパッド 丸松物産」で検索していただくとご覧いただけます。